

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2102121	体育実技 A Physical education	肥田 満裕	基礎	1	選択	1年 後期

科目の概要

体育館 1F 小体育館・2F フロアーを使用し、バレーボール・バドミントンの2種目を行う。それぞれゲームを中心に7時間ずつ行う。(前半バレーボール、後半バドミントン)

学修内容	到達目標
① バレーボールのゲームを通し、卓球の技術の習得・ルールを理解し、協力しゲームの運営することを学ぶ。	① グループで協力しバレーボールのゲーム運営が行えるようにし、その中で必要な卓球の技術習得のために努力することができる。
② バドミントンのゲームを通し、バドミントンの技術の習得・ルールを理解をし、協力してゲームの運営することを学ぶ。	② グループで協力しバドミントンのゲーム運営が行えるようにし、その中で必要なバドミントンの技術習得のために努力することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで種目に取り組み、目標や課題を持ちハイレベルな試合ができるように練習することができる。
	働きかけ力	
	実行力	個人スキルの向上や目標達成に向けて練習を行うことができる。
考え抜く力	課題発見力	個人スキルの状態を分析し、課題を見つけて対処することができる。
	計画力	個人スキルを向上するための練習計画を立てることができる。
	創造力	個人スキル向上のために工夫しながら取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。
	規律性	集団でのルールやマナーを守ることができる。 無断欠席、遅刻、私語など授業に支障をきたす行動をしない。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト:特に使用しない。

他科目との関連、資格との関連

多項目との関連:体育実技 B

学修上の助言	受講生とのルール
技術向上のため、自ら課題を見つけ・解決するために、技術レベルの高い仲間から助言・指導を受けること、様々な学生の動きをよく観察し解決方法を見つけ実践しなければならない。	テストは実施せず、試合結果で評価していく。欠席の場合は不戦敗として扱うので、休まず出席すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
小テスト		①	
		②	
レポート		①	
		②	
成果発表 (口頭・実技)	80	①	① バレーボール、バドミントン(シングルス・ダブルス)を行い、技能・チームへの貢献度などで評価する。(80点) ② それぞれのチームの試合結果も参考にする。 ③ 欠席せず授業に参加しないと評価が低くなってしまう。
		②	
		④	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	(主体性) ・技術取得のために自ら練習することができる。 (実行力) ・目標達成や技術習得のために練習することができる。 (課題発見力) ・勝つために自分が習得しなければならない技術を見つけることができる。 (計画力) ・技術修津奥のための練習を考えることができる。 (創造力) ・必要とする技術を習得しやすくするために工夫することができる。 (状況把握能力) ・今自分が何をすべきなのか、周りを見て判断する。 (規律性) ・授業のルールを守り取り組むことができる。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
その他	10	①	①健康の保持・増進のための授業なので、毎回出席することが原則となる。欠席は3点、遅刻・早退は1点を実技点から差し引いていく。 ②授業参加は、ジャージ・体育館シューズを準備することを原則とする。ジャージ・シューズの忘れはそのたびに1点を差し引く。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
欠席せず授業に参加し、バレーボールでは個人の能力を十二分に発揮し、チームへ貢献することができる。バドミントンではシングルス・ダブルスのゲーム成績が上位に位置することができる。	欠席せず授業に参加し、バレーボールではチームに個人の能力を発揮、チームへ貢献することができる。バドミントンではシングルス・ダブルスのゲーム成績が中位に位置することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション	体育館フロアにて、授業の実施方法・評価方法の説明。	欠席せずに参加し、授業の実施方法・評価方法を理解する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う。	予習 30	主体性 規律性
2週 /	バレーボール1 基本練習・簡易ゲーム	基本技術の練習を行い、ルールを説明する。	欠席せずに参加し、基本技術の理解と習得、ルールの理解をする。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う。	予習 30	主体性
3週 /	バレーボール2 基本練習・簡易ゲーム	基本技術の練習を行い、簡易ゲームを通してチーム戦術を確認する	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う。	予習 30	計画力 課題発見 能力
4週 /	バレーボール3 基本練習・簡易ゲーム	基本技術の練習を行い、簡易ゲームを通してチーム戦術を確認する	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う。	予習 30	実行力 課題発見 能力
5週 /	バレーボール3 ゲーム リーグ戦①	習得したチーム戦術を活かしてゲームを行う	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う。	予習 30	創造力 課題発見 能力
6週 /	バレーボール4 ゲーム リーグ戦②	習得したチーム戦術を活かしてゲームを行う	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	計画力 課題発見 能力
7週 /	バレーボール5 ゲーム リーグ戦③	習得したチーム戦術を活かしてゲームを行う	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	実行力 課題発見 力
8週 /	バレーボール6 ゲーム リーグ戦④	習得したチーム戦術を活かしてゲームを行う	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バレーボールの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	創造力 状況把握 能力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	バドミントン1 基本練習・簡易ゲーム	基本技術の練習を行い、試合のルールを説明する。	欠席せずに参加し、基本技術の理解と習得、ルールの理解をする。	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	主体性 規律性
10週 /	バドミントン2 シングルス1次リーグ	グループに分かれ1次リーグを行う。	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	計画力 課題発見 能力
11週 /	バドミントン3 シングルス2次リーグ	対戦結果から、上位と下位を入れ替え、3次リーグを行う。	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	実行力 課題発見 能力
12週 /	バドミントン4 シングルス3次リーグ	対戦結果から、上位と下位を入れ替え、3次リーグを行う。	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する。	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	創造力 状況把握 能力
13週 /	バドミントン5 ダブルス1次リーグ	ペアを決め、グループに分かれ1次リーグを行う。	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	計画力 課題発見 能力
14週 /	バドミントン6 ダブルス2次リーグ	対戦結果から、上位と下位を入れ替え、3次リーグを行う。	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	実行力 課題発見 能力
15週 /	バドミントン7 ダブルス3次リーグ	対戦結果から、上位と下位を入れ替え、3次リーグを行う。	欠席せずに参加し、積極的にゲームを行い、必要な技術を練習する	バドミントンの技術について自ら調べ、練習を行う	予習 30	創造力 状況把握 能力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力